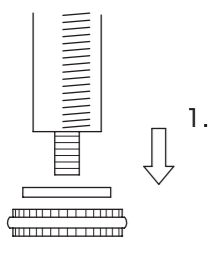
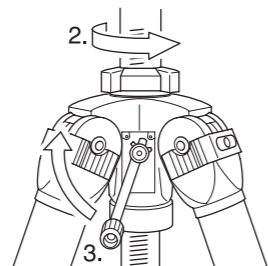


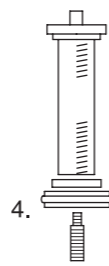
エレベーター、雲台受の交換方法



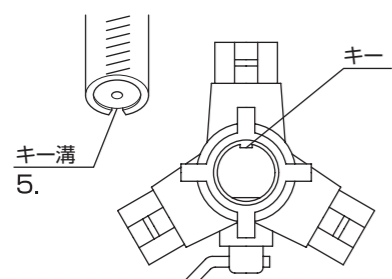
1. 下部座金をゆるめ、下部座金と輪ゴムをはずします。



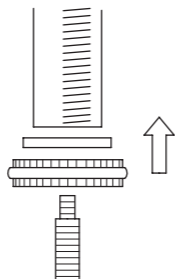
2. 本体のエレベーター締め付けナットとアンダーナットを3~4回転ゆるめます。
3. 雲台部を支えながらクランクハンドルを操作しエレベーターを上へ抜き取ります。



4. 新しく交換する雲台受の下部座金、輪ゴム、雲台取り付けネジを外します。

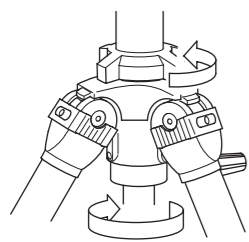


5. 本体部の中のキーとエレベーターの溝の方向を一致させます。
6. クランクを軽く回し、歯のかみ合いを確かめてから下まで降ろしていきませう。

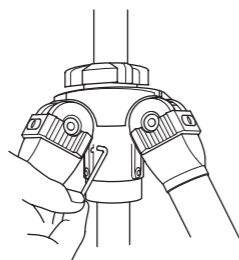


7. 輪ゴム、雲台取り付けネジ、下部座金をセットして完了です。
8. 外した輪ゴム、下部座金、ネジは紛失防止のため、必ずエレベーターに取り付けておいてください。

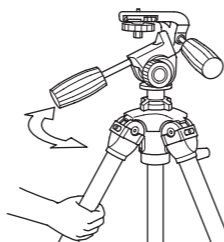
本体キーの調整方法



エレベーターの左右のガタを少なくしたいときは本体キーの調整を行なってください。
※付属品の六角レンチを用意してください。
1. エレベーター締め付けナットとアンダーナットをゆるめてください。



2. 六角レンチを図示の穴にさし込み本体キーを締め付けてください。



3. クランクハンドルを操作しエレベーターの上下の動きを確認し、さらにパンハンドルを握りエレベーターの左右ガタを確認してください。
4. エレベーターの上下の動きがかたいときは、本体キーの締め付けを少しゆるめてください。

禁止



• 三脚や雲台各部へのオイル・グリス等の補充は絶対にしないでください。破損、故障の原因となります。
• 可動部の動きが悪くなってきた場合は、お買い求めの販売店またはアフターサービスへご依頼ください。
• 火に近づけないようにしてください。
夏など高温になる車内などに長時間放置しないでください。

お手入れ

• よごれたときには、中性洗剤をやわらかな布につけてふいてください。その後、きれいな乾いた布でふいてください。

本製品の補修用性能部品は製造中止後5年を目安に保有しております。したがって本期間中は修理をお受けいたします。

インターネット・ホームページ <http://www.slik.co.jp/>

*改良のため、お断りなくデザイン、仕様を変更することがありますのでご了承ください。
©2017 SLIK CORPORATION

SLIK®

ザ プロフェッショナル シリーズ THE PROFESSIONAL SERIES

取扱説明書

このたびは、スリック製品をお買い求めいただきまことにありがとうございます。ご使用前にこの説明書をよくお読みいただき正しく、十分に性能を生かしてお使いください。お読みになったあとは必ず保管し、わからないときには再読してください。雲台のみお買い上げの方は【雲台部】の説明を中心にお読みください。脚のみお買い上げの方は【脚部】の説明を中心にお読みください。

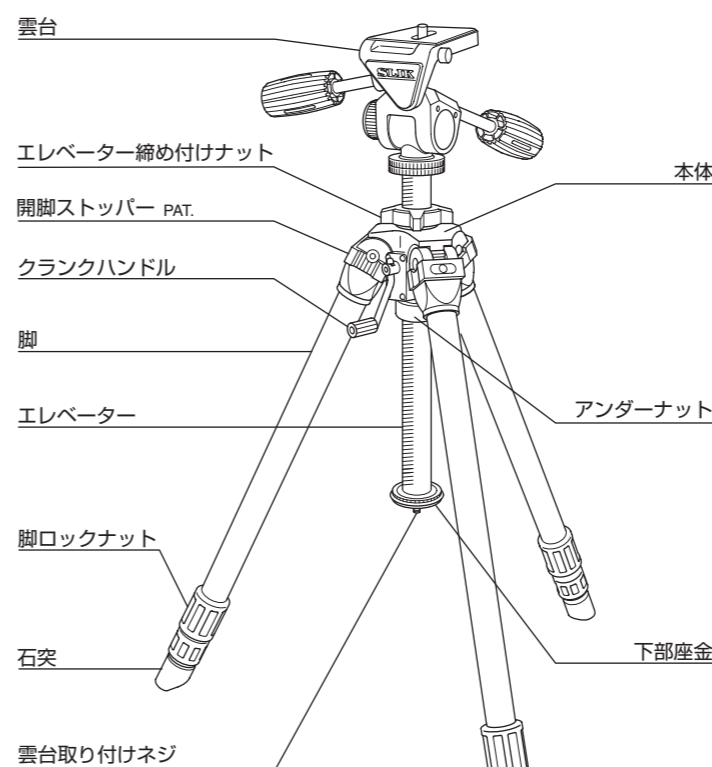
⚠注意 このマークは取扱いを誤った場合、人が傷害を負ったり物的損害の発生が想定される内容です。

🚫禁止 このマークは禁止(してはいけないこと)内容です。説明にしたいが事故のないようお使いください。

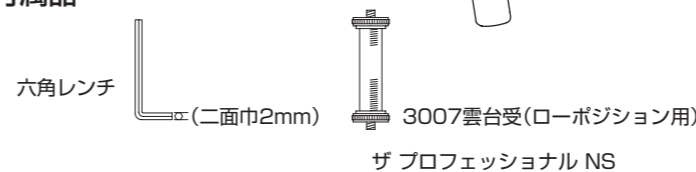
仕様	
ザ プロフェッショナル NS	
縮長	900 mm
全高	2,000 mm
EVスライド	280 mm
質量	6,210 g
ザ プロフェッショナル 4 NS	
縮長	935 mm
全高	2,530 mm
EVスライド	280 mm
質量	6,810 g

S882

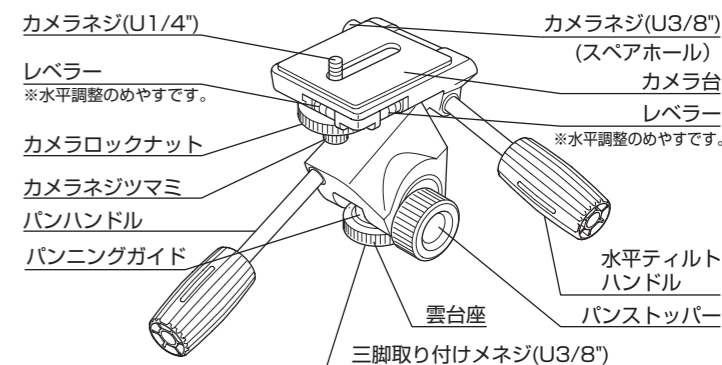
各部名称



付属品

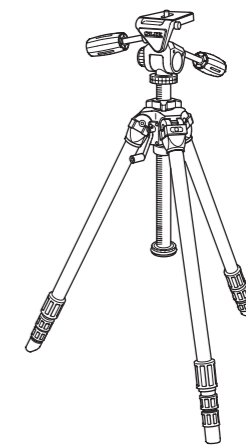


雲台



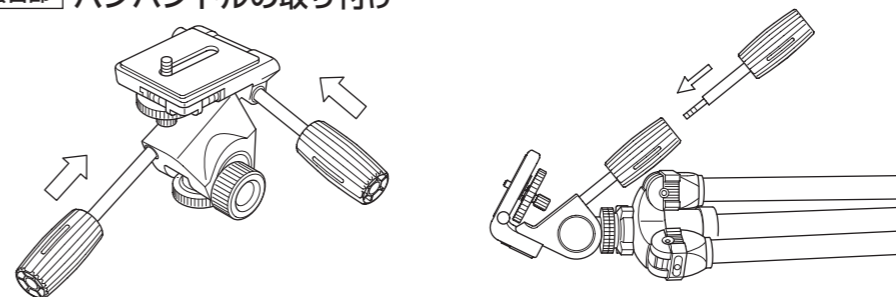
禁止

パンハンドルだけを持って、三脚を持ち上げないでください。
※三脚用のレベラーは水平調整のめやすです。カメラ内蔵のレベラーとは精度が異なります。



ザ プロフェッショナル 4 NS

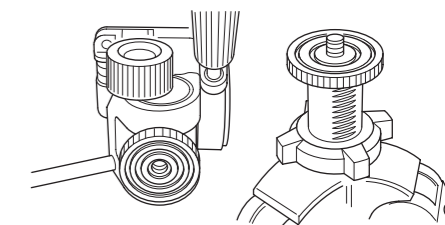
雲台部 パンハンドルの取り付け



雲台に2本のハンドルを取り付けます。ハンドルに長・短はありません。どちらにも取付けることができます。

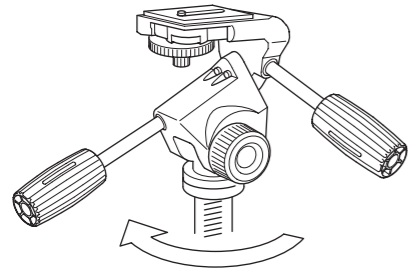
三脚の収納や運搬に際しては水平ティルトハンドルをパンハンドルの後ろに取り付けることができます。

雲台と三脚の取り付け



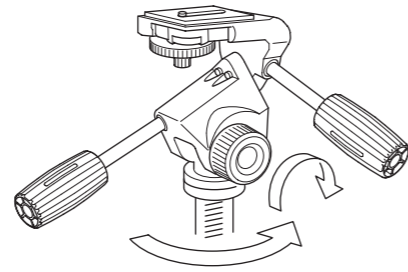
ザ プロフェッショナルシリーズの雲台と三脚の各取り付けネジは、大ネジ(U3/8")で出荷されています。脚のみを単独利用し、他の小ネジ(U1/4")の雲台と組み合わせ使用したいときは、後述の方法でネジを反転させてください。

雲台の取り付け



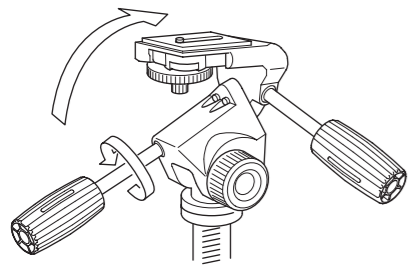
1. パンストッパーをゆるめてから、雲台、三脚のネジを合わせます。
2. ローレットのついた雲台座を止まるまでエレベーターにねじ込みます。
3. パンストッパーを締めこんでからパンハンドルを握って雲台を時計まわり方向にきつく締めこみます。
4. パンストッパーをゆるめると雲台は自由にパンニングします。

雲台の取り外し

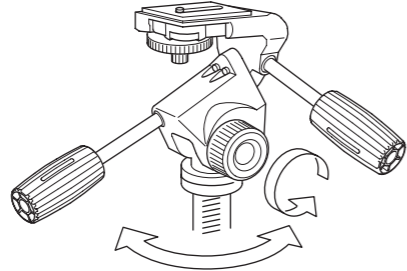


1. パンストッパーをしっかりと締めこみます。
2. パンハンドル、水平ティルトハンドルを握って、力強く反時計方向に雲台を回転させます。これで雲台がゆるみます。
3. パンストッパーをゆるめてカメラ台を支え、雲台座だけまわすと指先のみで雲台が外せます。

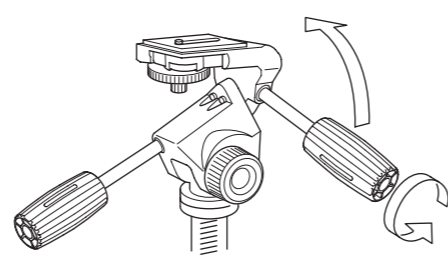
雲台の使い方



パンハンドルをゆるめると前後にティルトできます。

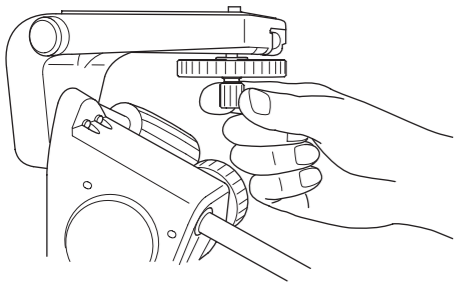


パンストッパーをゆるめると水平に回転できます。

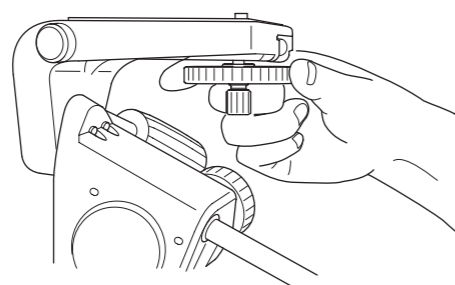


水平ティルトハンドルをゆるめると、水平調節ができます。

カメラの取り付け

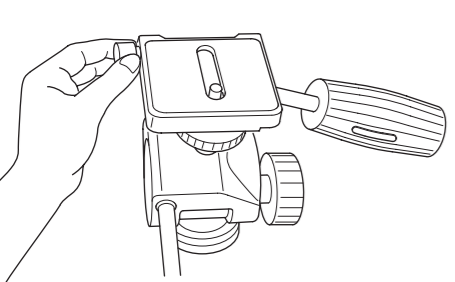


カメラをしっかり支えながら下側のカメラネジツマミを、ねじ込みます。

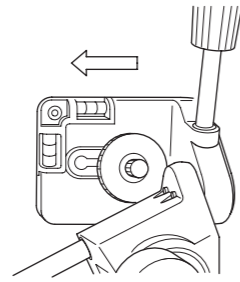


次に上側のカメラロックナットで、しっかりと締め込みます。

カメラネジの交換

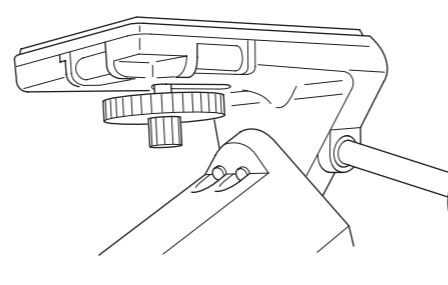


雲台のカメラネジは、小ネジ(U1/4")をセットして出荷してありますが、大ネジ(U3/8")をお使いになる時は、カメラ台左手のスペアホールにセットしてあるものをご利用ください。はずした小ネジはスペアホールにねじ込んでおいてください。



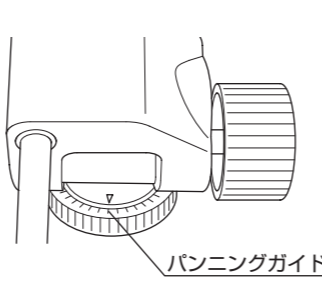
カメラ台のネジは長穴の最後端で外すことができます。移動、運搬の際のカメラネジの紛失を防ぐためには、最後端のネジとカメラロックナットを締めこんで、カメラネジをロックすることをおすすめします。

レベラー



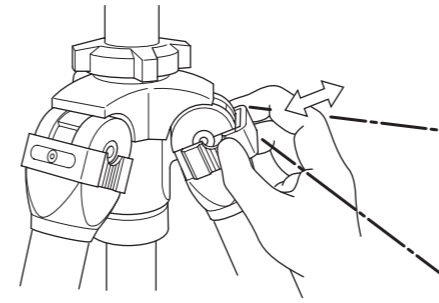
カメラ台の二つのレベラーを利用すると、水平出しのめやすとすることができます。

パンニングガイド

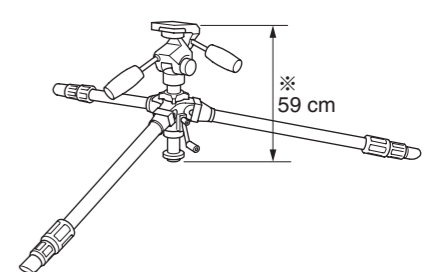


パンニングガイドはフリーに回転できますから指標のラインに0目盛りを合わせると雲台を希望の角度に正確に回転させることができます。

三脚部 3段階の開脚 PAT.

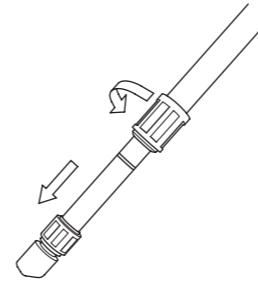


標準の開脚位置から脚を少し閉じるようにして、開脚ストッパーを引き出すと残りの二つの開脚角度が選択できます。

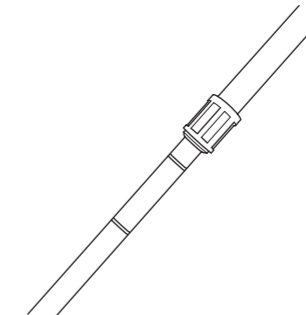


使用角度が決まったらストッパーを決められた位置まで確実に戻してください。フル開脚の場合は、最低地上高59cmです。
※SH-909雲台使用時

脚パイプの伸ばし方

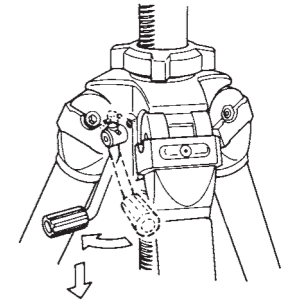


脚ナットは1/2回転ほどゆるめると下のパイプが伸縮できます。溝入りパイプを使用しているのでどの段からでも操作できます。



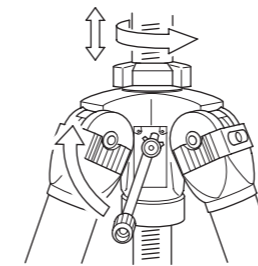
上から2段目のパイプには、10cm間隔で目盛りが入っています。脚の長さをそろえる際のめやすにしてください。

クランクハンドルの起こし方

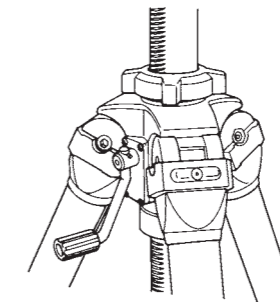


ツマミ部分をつかんでツマミを手前方向に向けてください。引き下げて使用位置に固定します。

エレベーターの操作

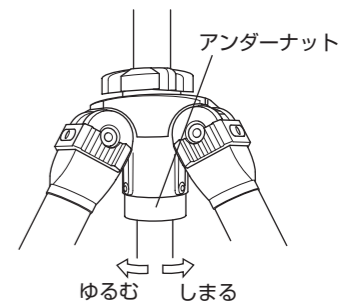


クランクハンドルを操作してエレベーターを上下します。エレベーター締め付けナットを締め込むと、エレベーターの作動かたさを調節し左右ガタを少なくすることができます。



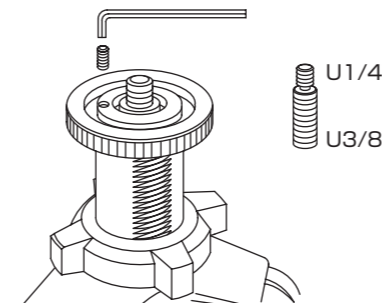
ウォームギヤの採用により、雲台部を上から押しでも落下することはありません。

アンダーナット

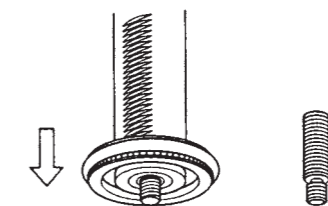


締め付けナットをゆるめたときのエレベーター上下かたさを変えたいときは、アンダーナットの締め具合でかたさを調整してください。

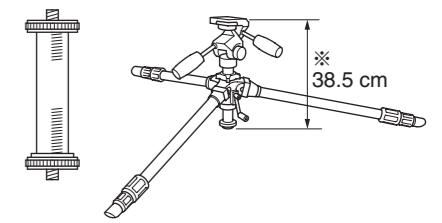
エレベーターの上、下の取り付けネジ



エレベーター(上、下)の雲台取り付けネジは小ネジ(U1/4")、大ネジ(U3/8")の段つきネジになっています。上下反転すれば希望のネジを使用できます。反転は座金をゆるめて行いますが、上の座金は図示のように付属の2mm巾六角レンチを使用して、M4ネジをゆるめてください。



3007雲台受(ローポジション用)



フル開脚時にさらに低い地上高をご希望の場合は、付属の3007雲台受(ローポジション用)を使用してください。最低地上高38.5cmにできます。
※SH-909雲台使用時。